

- (3)「人口構成の変化に伴う医療介護に求められている変化」
今村知明(公立大学法人奈良県立医科大学公衆衛生学講座教授)
- (4)「共生型社会に貢献する看護の新たな働き方(仮)」
齋藤訓子(公益社団法人日本看護協会副会長/関東学院大学看護学部看護研究科教授)
2. 医師事務作業補助者－専門職としてさらなる高みを目指して－
座長：西澤延宏(JA長野厚生連佐久総合病院副統括院長)
長島 久(富山大学附属病院医療の質・安全推進部署長・特命教授)
- (1)「公立病院における医師事務作業補助者の組織運営体制強化の取り組み」
三木典子(地方独立行政法人加古川中央市民病院医療業務部メディカルアシスタント)
- (2)「病院経営で必要とされる新たな分野の人材としての医師事務作業補助者」
木村憲洋(高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科准教授)
- (3)「医師事務作業補助者の診療情報管理業務への関わり」
中村雅彦(松本市立病院院長)
- (4)「医師事務作業補助者が医療安全向上へ及ぼす効果」
福田誠司(島根大学医学部医療安全管理部教授)
3. 「これからの医療福祉介護連携で大切なこと－医療福祉連携士への期待・役割－」
座長：中村起也(広南病院神経内科/医療福祉連携士4期生)
村上佳代(社会医療法人生長会ベルピアノ病院地域連携・在宅療養支援センター部長/医療福祉連携士2期生)
- (1) 基調講演
「医療福祉連携の将来展望」
厚生労働省(予定)
- (2)「医療介護連携とPerson Flow Management」
戸田爲久(社会医療法人生長会ベルピアノ病院院長)
- (3)「在宅医療・介護連携推進事業における医療福祉連携士の活動報告～看護で地域を繋ぐ～」
成定啓子(姫路市医師会姫路市在宅医療・介護連携支援センターセンター長/医療福祉連携士3期生)
- (4)「地域における多職種連携の実際と医療福祉連携士としての展望」
丸山秀幸(社会医療法人ペガサス馬場記念病院医療福祉相談室室長/医療福祉連携士5期生)
- (5)「在宅療養支援病院地域連携室で奮闘する医療福祉連携士としての立場から」
竹内弘之(医療法人東和会第二東和会病院地域連携室室長/医療福祉連携士3期生)
- (6)「医療福祉連携講習会について」
大久保 一郎(横浜市健康福祉局衛生研究所所長/医療福祉連携講習会実行委員会委員)
4. 特定行為研修制度のこれからの発展(仮)
座長：増本陽秀(株式会社麻生飯塚病院院長)
太田秀樹(医療法人アスミス理事長)
- (1)「特定行為研修で何が変わったか？」
長谷川剛(医療法人社団愛友会上尾中央総合病院情報管理特任副院長)
- (2)「日本看護協会が特定認定看護師を育成する意義」
荒木暁子(公益社団法人日本看護協会常任理事)
- (3)「大学病院における診療看護師・特定看護師による特定行為実施の現状」
岩田充永(藤田医科大学救急医学・総合内科学教授)
- (4)「特定行為と診療看護師教育」
大島久二(東京医療保健大学副学長・看護学研究科長)
- (5)「特定行為研修へのかかわりと今後に期待すること」
岡 敬二(社会医療法人敬和会大分岡病院理事長)
5. 災害時におけるBCP
座長：高橋 毅(国立病院機構熊本医療センター院長)
楠本茂雅(社会医療法人生長会ベルランド総合病院クオリティ管理センター部長)
- (1)「災害医療現場の実相に見るBCPの在り方～サリン、原発、新型ウイルス…想定外の現場から～」
近藤力也(陸上自衛隊部隊訓練評価隊隊長)
- (2)「なぜBCPは広まらないのか？～わたしの失敗と挑戦～(仮)」
中島 康(東京都立広尾病院減災対策支援センター部長)
- (3)「令和2年7月豪雨災害を経験して～水害に対するBCP～」
木村正美(独立行政法人地域医療機能推進機構人吉医療センター院長)
6. 地域連携クリティカルパスで得られたもの
座長：藤本 俊一郎(香川県厚生農業協同組合連合会代表理事理事長)
野村一俊(朝日野総合病院病院長)